掲載日:2023年01月15日，面名:スポーツ，記事ID:KIJ20230115_01025000101103004

(C)宮崎日日新聞社

令和４年度　宮崎県高等学校柔道選手権大会（全国選手権予選）

期日　令和５年１月14日(土)　男女個人試合　／　会場　ひなた武道館　主道場

男子個人戦

-６０kg　優　勝　佐藤　啓　(総2-6 日大中)

-６０kg　準優勝　後藤　悠真(特2-3 日大中)

-６０kg　第３位　板東　魂　(総1-5 日大中)

-６０kg　第３位　菅　清一郎(総1-5 今治南中・愛媛県)

-６６kg　第３位　大西　弘也(総2-5 富田中)

-７３kg　第３位　中武　夢叶(総2-5 大塚中)

-８１kg　準優勝　三浦　些丞(総2-5 三股中)

女子個人戦

-５２kg　優　勝　福永　葉子(総2-5 日大中)

-５２kg　準優勝　渡辺　そら(総2-5 日大中)

-５７kg　優　勝　三井　咲花(総1-4 長洲中・大分県)

-５７kg　第３位　小西　柚葉(総1-4 三間中・愛媛県)

-６３kg　第３位　小城　琴音(総2-5 日大中)

無差別級　優　勝　白阪　光　(総2-2 日大中)

無差別級　準優勝　平石　海葉(総1-4 福間中・福岡県)

日大女子は３階級

無差別級 白阪 手術乗り越え積極攻撃

県高校柔道選手権 第１日

柔道の県高校選手権は14日、宮崎市のひなた武道館主道場で男女各５階級の個人戦を行った。男子は81キロ級の甲斐大詩ら延岡学園勢が４階級を制覇。60キロ級は佐藤啓（宮崎日大）が２年連続栄冠を手にした。

女子は無差別級の白阪光、52キロ級連覇の福永葉子ら宮崎日大勢が３階級を制覇。小林西勢は48キロ級２年連続優勝の田畑綾恋と、63キロ級・平野遥が勝った。

各階級の優勝者は第45回全国高校選手権（３月20日・日本武道館）の出場権を獲得した。

最終日は15日、ひなた武道館で男女団体戦を行う。（中野裕二）

＝記録は上が勝者＝

【男子】60キロ級準々決勝　後藤（宮崎日大）―松本（鵬翔）、菅（宮崎日大）―落合（日章学園）、佐藤（宮崎日大）―木本（日章学園）、板東（宮崎日大）―黒木（日向工）▽準決勝　後藤―菅、佐藤―板東▽決勝　佐藤　啓　優勢　後藤　悠真（延長）▽66キロ級準々決勝　大西（宮崎日大）―向井（延岡学園）、詠田（日章学園）芝元（宮崎日大）、西川（延岡学園）―岩切（日章学園）▽準決勝　斉藤（延岡学園）―大西、西川―詠田▽決勝　西川　史悠　優勢　斉藤　亮志（延長）▽73キロ級準々決勝　黒木（延岡学園）―中村（妻）、美村（延岡学園）―落（鵬翔）、佐藤匠（延岡学園）―川上（宮崎大宮）、中武（宮崎日大）―永友（鵬翔）▽準決勝　黒木―美村、佐藤―中武▽決勝　黒木　光輔　優勢　佐藤　匠馬（延長）▽81キロ級準々決勝　甲斐（延岡学園）―三輪（日向工）、男久保（鵬翔）―前田（都城工）▽準決勝　甲斐―男久保、三浦（宮崎日大）―城後（日章学園）▽決勝　甲斐　大詩　縦四方　三浦　些丞　固め▽無差別級準々決勝　工藤（延岡学園）―川島（鵬翔）、佐藤弘（延岡学園）小城（宮崎日大）、戸高（延岡学園）―河野（宮崎日大）、柳本（延岡学園）―首藤（同）▽準決勝　工藤―佐藤弘、柳本―戸高▽決勝　柳本　勇翔　優勢　工藤　悠祐

【女子】48キロ級１回戦　田畑（小林西）―中川原（鵬翔）▽決勝　田畑　綾恋　縦四方　甲斐　意彩　固め　（小林西）▽52キロ級１回戦　福永（宮崎日大）―長友（富島）、渡辺（宮崎日大）―甲斐（小林西）▽決勝　福永　葉子　横四方　渡辺　そら　固め▽57キロ級準々決勝　村岡（小林西）―荒巻（富島）、小西（宮崎日大）―益田（鵬翔）、三井（宮崎日大）―鬼塚（鵬翔）、上野（小林西）―黒木（鵬翔）▽準決勝　村岡―小西、三井―上野▽決勝　三井　咲花　優勢　村岡　七穂▽63キロ級１回戦　長友（鵬翔）―高本（日章学園）▽準決勝　平野（小林西）―長友、東（日章学園）―小城（宮崎日大）▽決勝　平野　遥　優勢　東　鈴華▽無差別級準々決勝　白阪（宮崎日大）―邑山（日章学園）、川口（鵬翔）―福永（小林西）、吉永（日章学園）―吉田（小林西）、平石（宮崎日大）―岡田（鵬翔）▽準決勝　白阪―川口、平石―吉永▽決勝　白阪　光　優勢　平石　海葉

○…「後ろに下がらない」「自分から仕掛ける」。得意の内股を積極的に繰り出した白阪光（宮崎日大２年）が女子無差別級を制した。

６歳で柔道を始めた。中学から左膝の故障に苦しみ、思うような結果は残せていない。昨年11月に行った４度目の手術で半月板を取り除いたことで、けがへの不安が小さくなり、稽古に集中できるようになったという。

「体育教師になって、柔道を教える」という目標がある。そのためにも全国大会で結果を残し、大学で競技を続けたいと考えている。「この１年が勝負。勝つイメージを持って前向きに練習する」と力強かった。

【女子無差別級決勝】積極的に攻め、優勢勝ちした宮崎日大の白阪光（左）（中野裕二撮影）

佐藤（日大）連覇

― 男子60キロ級 ―

チームメートに雪辱

○…宮崎日大中、高校と５年間チームメートの佐藤啓と後藤悠真が男子60キロ級決勝で激突。約10分に及ぶ熱戦の末、佐藤が２連覇を達成した。

昨年10月の県新人大会で負けていた佐藤。釣り手を使って、接近戦を得意とするライバルとの距離を保った。一進一退で突入した延長戦で急所に足が当たり、気分が悪くなったという。それでも「全国大会に向け、積み上げてきたものがある」と闘志を燃やし、場外に出して指導を奪った。

昨年１回戦敗退だった全国選手権は２カ月後。「成長した姿を見せられるよう、努力する」とレベルアップを誓った。

【男子60キロ級決勝】２連覇を果たした宮崎日大の佐藤啓（左）（野村有未撮影）